

# SCOUTING

スカウティング

Scout Association of Japan [www.scout.or.jp](http://www.scout.or.jp)

平成18年11月1日発行 毎月1回1日発行 第642号 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可

NO.642 2006/11



第16回全国スカウトフォーラムより

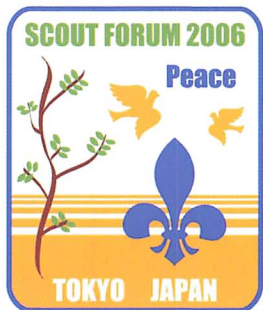
- 第16回全国スカウトフォーラム報告
- 活動自慢コンテスト最優秀作品紹介
- 平成18年度韓日スカウトフォーラム派遣報告



財団法人

ボーイスカウト日本連盟





# 世界の仲間と共に Gifts For Peace

— ギフト・フォー・ピース —

## 第16回全国スカウトフォーラム

報告

「スカウトたちの声に耳を傾け、その意見をスカウト運動に反映させていくこと」の実践と、そのための幅広い社会性を身につける機会の提供の2つを主眼に2年ごとに開催される全国スカウトフォーラム。第16回となる今回は、9月中旬の東京・国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催されました。

全国スカウトフォーラムは、それぞれの地域や県連盟で「平和」を基調としたテーマのフォーラムを行い、その結果を都道府県連盟の代表スカウトが持ち寄って開催することを基本としています。全国から集った代表スカウトたちが過ごす2泊3日の様子、そこで彼らが感じたことなどはなかなか知る機会がありません。今回は少し詳しく、フォーラムについて紹介します。

| 時  | 第1日 (9月16日) | 第2日 (9月17日)   | 第3日 (9月18日)       |
|----|-------------|---------------|-------------------|
| 06 |             | 起床・洗面・清掃・朝食   | 起床・洗面・清掃・朝食       |
| 07 |             | 朝礼+アクティビティ    | 朝礼+アクティビティ        |
| 08 |             | ワークショップ       |                   |
| 09 |             | 平和のテーマ        | 全体会               |
| 10 |             | ワークショップのふりかえり | 閉会式               |
| 11 |             | 昼食            | 昼食                |
| 12 |             | 集合・開会式        | アクティビティ・プレゼンテーション |
| 13 |             | アイスブレイキング     | グループワーク (2)       |
| 14 |             | オリエンテーション     |                   |
| 15 |             | グループワーク (1)   | グループワーク (3)       |
| 16 |             | 夕食            | 夕食                |
| 17 |             | パネルディスカッション   | グループワーク (4)       |
| 18 |             | 今日のふりかえり      | 今日のふりかえり          |
| 19 |             | 入浴            | 入浴                |
| 20 |             | 入浴            | 入浴                |
| 21 |             | 消灯            | 消灯                |
| 22 |             |               |                   |
| 23 |             |               |                   |

今回のフォーラムでは、開催にあたり、日本連盟プログラム委員長から参加スカウトの議論への期待が寄せられました。

### 「第16回全国スカウトフォーラムに期待すること」

ボーイスカウト日本連盟 教育本部 プログラム委員会 委員長

上道小太郎

ベーデン・パウエル (B-P) は、軍隊での偵察や見張りの技術が少年たちの教育に役立つことを知って、スカウト運動にその方法を取り入れました。周囲からは少年たちを戦争に利用するものだという批判がありましたが、B-Pはそれに対して、「スカウティングは決して少年たちを戦争に利用しようとするものではない。それどころか、平和の斥候 (Peace Scouts) として、世界の平和のために先頭に立つものだ」と述べています。スカウト運動が世界の多くの国に広がり、世界ジャンボリーなどの大会が開かれるようになり、スカウトがお互いに知り合いの仲間となれば決して戦争にはならないとB-Pは考えていたのです。

世界スカウト機構 (WOSM) は、1907年にB-Pがブラウンシー島で実験キャンプを実施してから来年で100周年となることを記念して、平和のためのプロジェクトを世界中で展開し、スカウト運動が社会に働きかけ貢献することを推奨しています。これがギフト・フォー・ピース (Gifts for Peace) と呼ばれるプロジェクトの呼びかけです。

ボーイスカウト日本連盟は、毎年9月の祝日を「スカウトの日」として、全国各地で様々な活動を展開してきました。特にカントリー大作戦は毎年多くのスカウトが参加し大きな成果を上げています。日本連盟では、来年の「スカウトの日」が世界スカウト運動創始100年の年であることから、これまでの取り組みをさらにパワーアップし、WOSMが提唱するGifts for Peaceの取り組みと呼応するようなプログラムを実施したいと考えています。

第16回全国スカウトフォーラムは一昨年に引き続き「平和」をテーマとして開催します。全国から参集するベンチャースカウト諸君が、日頃の活動の成果の上に立って、平和を脅かすさまざまな現状を知り、お互いの考えを共有し、より視野を広く、高くもって、熱く議論し、来年度の「スカウトの日」に実施できる具体的な行動計画という成果を得る事ができるよう多に期待しています。

(「参加の手引」より一部略)



日程：平成18年9月16日(土)～18日(月・祝) 2泊3日

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

テーマ：『世界の仲間と共に』ーギフト・フォー・ピースー

2007年、スカウト運動創始100周年を契機に、スカウティングの一層の発展を願い、世界の仲間と共に『より良い社会づくり』に貢献できるよう『平和』をキーワードとした取り組みについて討議を行う。

参加者 ●スカウト：43人

40県連盟ベンチャースカウト40人 ガールスカウト3人

●スタッフ：13人

運営委員会委員5人 ファシリテーター(RS年代)8人

●日本連盟役員：

伊藤智是教育本部コミッショナー

清水利英教育本部副コミッショナー

●来賓：

西尾英子(社)ガールスカウト日本連盟教育活動委員会委員

●講師等：

【パネルディスカッション】

林田佳子 (財)日本ユニセフ協会 団体・組織事業部

神 仁 (財)全国青少年教化協議会 主幹

杉原 正 (財)ボーイスカウト日本連盟 理事

【ワークショップ】

桜井高志 桜井・法貴グローバル教育研究所 代表

### スカウトフォーラムとは

古代ギリシャ時代の都市ローマでは、人々が広場の一角に集まり、政治・教育などについてそれぞれの方法で自分の考えを自由に主張したといわれている。そうした討論をする広場のことを「フォーラム」といった。以後、私たちの周りの問題について語り合う場のことが高くフォーラムと呼ばれている。スカウトの活動でも、隊、地区、県連盟、そして日本連盟でスカウトフォーラムが持たれ、各地域のスカウトたちが積極的にこれに参加をし、意見交換をしてきた。

### 2つの目的

- ①スカウトの声に耳を傾け、スカウト運動に反映させること
- ②スカウトが幅広い社会性を身につけ、他の人たちとお互いに理解を深めるという機会を提供すること

### 今までに話し合われたこと

1974(昭和49)年の第1回フォーラムは、6NJ会期中に『より良い社会をめざして、スカウトは何をすべきか』をテーマに開催され、『スカウト奉仕の日(現在のスカウトの日)』が提議され具現化した。

4年後7NJ会期中に開催された第2回では、フォーラムを積極的に展開していくことが提言の一つとして採択され、これを受けて日本連盟では2年ごとに定期的にスカウトフォーラムを開催していくこととした。

その後も様々なテーマが取り上げられ、ベンチャー大会開催や、世界環境保護バッジが導入の契機となった。

## スカウトフォーラムのプログラムデザイン

今回のフォーラムは以下のような流れで参加スカウトの声を集約していきました。



### アイスブレイキング

仲間づくり、名前を覚え、緊張をほぐす



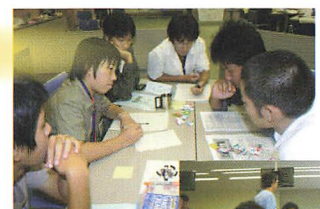
### オリエンテーション

ルールの確認、話し合いについて知る



### グループワーク(1)

仲間を知る(能力・得意なもの)、グループ名を決める



### パネルディスカッション

パネリストによる意見交換から、色々な考え・体験導入



①



②



③



コーディネーター 高森茂範  
フォーラム運営委員

「平和を考えるパネルディスカッション」では、講師の先生方より次のようなお話を伺いました。

「現代の戦争、子どもの関わりと世界の現状」ユニセフ協会・林田佳子氏 ①

「心の問題、精神的な平和について」全国青少年教化協議会 神 仁氏 ②

「日本の戦争、戦争体験を語り、戦争の現状を語る」杉原 正理事 ③





## ワークショップ

色々な体験型ワークショップを行い、学び、感性を養う



## グループワーク (2)

グループの方向性を決め、みんなの意見を集約する



## グループワーク (3)

提案を短い文章で表現し、アピール



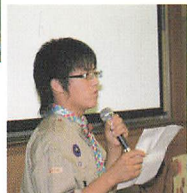
## グループワーク (4)

実際に実践するアクションプランを作成する



## 全体会

- ・議長団を選出して各グループの採択文とアクションプランをプレゼンテーション
- ・提案に対する質疑応答、お互いの意見を認め合い、深める
- ・全員で採決、民主主義の考え方、進め方



**ふりかえり** スカウトフォーラムをふりかえり、自分の感じたことを他の人と分かち合う

**決意文の県連盟宛提出** 今回の全国スカウトフォーラムでは、代表スカウトから県連盟コミッショナーに決意文を届け、報告を行うこととした。代表スカウトへのサポートと決意文の実現に向けて、日本連盟から県連盟での検討をお願いする。

このような流れの中で、参加スカウトは様々な話し合いを重ね、スカウトフォーラムの決議文を採択していきました。





#### 〈ピース・バトン〉

平和を祈念した〈ピース・バトン〉リレーが、アジア太平洋地域で進行中です。フィリピンのアジア太平洋事務局から日本に到着したピース・バトンはフォーラム閉会式において、参加した代表スカウトたちにより、フォーラムの成果を確認しながら手から手へと渡されました。現在、ピース・バトンは韓国に到着しています。

#### テーマ：ギフト・フォー・ピースとは

Gifts for Peace はスカウト運動創始100周年の年である2007年を機に世界スカウト機構が提唱する事業の一つで、スカウト運動を通じた自己開発・兄弟愛・相互理解の理想に向かう努力を通じ、単に戦争をなくすだけでなく、平和な精神文明を通して達成される「より平和な世界」を作ることの促進を目指すものである。

各国スカウト連盟には、その国独自の「ギフト・フォー・ピース・プロジェクト」を提唱し、2005年9月以降最低1年以上継続してすべての年齢グループが参加できるようにすることが求められている。

プロジェクトの要件は、現実のニーズに対応した地域社会に役立つものや、青少年にとって重要なニーズに対応しその成果が青少年に直接影響を及ぼすもの、スカウト運動と関りのなかった人々にも役立ち地域社会とスカウト運動との架け橋となるもの、などのいずれかであることとされており、以前に手がけていた企画の延長であってもよい。

また、プロジェクト活動の範囲は「青少年に関連する範囲で、しかも世界平和に関する内容で、下記の範囲とする」とされている。

1. より平和的な世界を築く  
平和と問題解決、交渉、および調停方法、怒りの処理能力を含む対立の解消。
2. 偏見や差別を阻止する  
人種差別、宗教に対する偏見、いじめ、そして性差別等の偏見や固定観念が存在することを認識し、それらの偏見を阻止する努力をすること。
3. 認識し、理解を深める  
難民、国内難民、亡命希望者、路上で生活する孤児、および少数民族等のような社会的に恵まれていない人々の存在を認識し、理解を深める。

## 第16回全国スカウトフォーラム決意文

# はじめよう 100周年を見すえて 発信しよう 平和へ向けて

### アクションプラン（各グループからの提案）

#### （グループ1）

- ・自分たちが戦争体験者に話を聞く。　・会を開いて、自分の口から伝える。　・会の結果を報告して、情報を共有する。
- ・自分なりに平和や法律の勉強をする。　・会を継続する。　・後輩のスカウトにこの活動を伝えていく。

#### （グループ2）

- ・地区等の仲間が集まって障害、平和について事前に学ぶ。　・地区等で、主に障害者や平和について考える（知る）場を設ける。
- ・障害者の疑似体験を行い、障害について考える。　・平和についてのトピックスを出し、理解する。
- ・貧富の差の疑似体験などをする。　・その後、参加者に対して感じたことなどのアンケートの実施。
- ・アンケートの集計結果の情報を共有する。

#### （グループ3）

- ・外国難民を考えるキッカケで「ピース・バック」をする。
- ・ボーイスカウトとガールスカウトで認識を高め、物資の収集をする。
- ・募金活動をして、輸送代を集める。　・支援国に輸送する。　・輸送後、送られてきた手紙や絵を発表、または展示。

#### （グループ4）

- ・海外派遣　・他県との交流キャンプ　・地域ボランティアキャンプ　・弁論大会　・災害支援チームの発足　・富士山清掃
- ・Rice Planting Project（田植えプロジェクト）

#### （グループ5）

- ・リサイクルクッキングを積極的に行う。　・ベンチャースカウトが率先して世界の食糧問題を多くの人に伝える。
- ・食事の大切さを伝える。　・他の地域について知識を持つ。　・様々な人たちとの交流の場を持つ。

#### （グループ6）

- ・相手国を十分に知り、その国を深く理解することで相手の立場に立ったボランティア活動や支援活動を行う。
- ・優しさや理解をもって接し、交流を通して友情を育む。　・スカウトとして平和に向けた活動を実践し、スカウト運動を広めていく。

#### （グループ7）

- ・Wish for Peace (WFP)　～18万人の祈り～　・大清掃 Before After　～日本の垢落とします～

冒頭の上道プログラム委員長から寄せられた期待の一つ、「来年のスカウトの日に実施できる具体的な行動計画立案」にまでは今回のフォーラムでは至らなかったかもしれませんが、今後各参加スカウトがそれぞれの都道府県連盟へ議論を持ち帰り、アクションプランを詰めていく中で、全国的に取り組むことができる行動計画が芽生えてくることに期待したいところです。

以上お伝えしてきた第16回全国スカウトフォーラム。最後は参加者アンケートよりスカウトの声をお伝えして記事を終わめます。





### アンケートより、参加スカウトの声

- ・とても面白かった。県に自信を持って持ち帰れるものを得たと思っている。
- ・全国のいろいろな人と出会って、様々な面白いことや隊の活動に触れられて良かったです。
- ・みんなとても活発に意見を述べていて、とても影響を受けた。いい議論ができたからこそ、終わってから楽しい笑い話ができるのだと思う。
- ・またあれば参加したい。この絆を大事に。
- ・全国規模の行事は初めて参加したので、緊張していたけれど、すぐ親しくなれて、しかもグループワークもすごく上手くいて、最後の閉会式も楽しく、また参加したい。
- ・志の高い仲間と語ることができ、良い経験になった。
- ・先輩たちに「フォーラムは行くべき、すごく楽しいから」と言われていて、みんなのレベル、発言力、考え、すべてにおいてレベルが高くてとても勉強になった。帰ってから伝えていく！
- ・自分の意見、県フォーラムで出た意見、思ったことをしっかりとみんなに伝えることができた。次回はスタッフ等として協力していきたい。
- ・皆のフレンドリーさには驚いた。
- ・最初は地区や県のフォーラムと同じレベルと思っていたが、全国は本当にいろいろな人がいて、いろいろな意見が聞けて、とても充実していたと思う。
- ・確かに難しいものだったが、日本全国のスカウトと交流することができてとても良かったです。
- ・とても楽しかった。発表がイマイチできなかったから残念だったけれど、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・フォーラム初参加でしたが、グループ内でたくさん自分の意見が言えてよかったです。帰ったら報告書をまとめ、次の機会につなげたいです。
- ・内容が思っていたのと違い、少し…。でも参加できてよかったと思えるフォーラムでした。自分は発見ができた。
- ・自分の思っていることを全部言うことができて、友だちもいっぱいできて、本当に参加して良かったと思いました。
- ・もっとグループワークの時間を増やしてほしい。1日目の時間がもったいないと思った。
- ・様々な意見や話が自分の知識を伸ばし深める良いきっかけになりました。自分の視野を広げて世界を見つめることは、これから地球規模のことを考えるのに必要なことだと思います。
- ・みんなの意見を聞いていく中で、かなりの知識量が増え、良い経験ができました。これから県連盟に戻って、決まったアクションプランを率先して実行していきます。
- ・改めてボーイスカウト活動に惚れました。全く知らない県の人たちとこんなにも仲良くなれるなんて、とてもすばらしいことだと思いました。
- ・話し合いの時間が短い気がした。しかし内容はいろいろ話せたし、とても面白く、帰りたくないの、年に一回位はやりたかったです。
- ・初めてフォーラムに参加したけど、とても面白かった。人と人との話し合いがいかにも難しいかわかった。また来たい。
- ・また行く機会があるのなら、もう一度行きたい。自分たちの考えが日本に反映されるとうれしい。
- ・また参加したいと思う。スカウト活動にももっと積極的に参加していきたいと思う。

- ・来たときは本当に男子ばかりで恐くて、どうしたらいいのかわからなくて不安で一杯だったけど、二日目からはすごくみんなと仲良くなれて、本当に楽しかった。そして、また平和についてより知ることができ、私もボーイと一緒にアクションプランを実行していこうと思う。
- ・次回はローバースタッフとして参加したい。

### 参加者名簿

#### グループ1

|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 富山 結城 貴虎 高岡第28団 | 長野 堀内 翼 上田第13団    |
| 三重 田中 歩美 鈴鹿第1団  | 愛媛 谷本 憲亮 松山第15団   |
| 大分 川上 悟 津久見第1団  | G S 井上 聡美 群馬県第38団 |

#### グループ2

|                |                   |
|----------------|-------------------|
| 宮城 村上 善光 塩釜第1団 | 栃木 岡田 圭介 安蘇第1団    |
| 福井 酒井 一成 福井第7団 | 奈良 明石 甲士 奈良第16団   |
| 徳島 山下 舞 鳴門第9団  | G S 下山 未聖 埼玉県第33団 |

#### グループ3

|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 秋田 保坂 聖 秋田第33団    | 群馬 浅井 菜穂 桐生第17団    |
| 東京 太田 潤 葛飾第2団     | 京都 矢崎 唯貴 城陽第1団     |
| 岡山 大森 雄仁 西大寺第1団   | 鹿児島 山元 良祐 鹿児島県第13団 |
| G S 時田 直美 大阪府第78団 |                    |

#### グループ4

|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 福島 伊藤 陽子 福島第52団 | 埼玉 野原 拓也 飯能第2団    |
| 兵庫 浦田 寛子 西宮第1団  | 和歌山 山東 大介 和歌山第18団 |
| 広島 加藤 健太 広島第30団 | 福岡 竹本 昌史 福岡第14団   |

#### グループ5

|                |                 |
|----------------|-----------------|
| 山形 大川 峻 山形第29団 | 千葉 山田 大介 千葉第9団  |
| 岐阜 杉岡 良章 揖斐第1団 | 山口 日野 尚武 光第2団   |
| 高知 黒瀬 翔子 高知第8団 | 熊本 尾方 真理子 球磨第1団 |

#### グループ6

|                |                  |
|----------------|------------------|
| 茨城 白井 敦 岩瀬第1団  | 石川 松木 克弥 加賀第3団   |
| 愛知 平井 慎一 岡崎第3団 | 滋賀 桑名 都史絵 甲賀第4団  |
| 岩手 鷺坂 史明 盛岡第5団 | 神奈川 小泉 諒治 川崎第38団 |

#### グループ7

|                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 青森 山元 浩史 むつ第1団  | 新潟 小田 哲大 新潟第16団 |
| 静岡 杉山 誠一 静岡第35団 | 大阪 永井 健人 八尾第8団  |
| 香川 川上 英士 三豊第3団  | 宮崎 浅田 彩也夏 日南第1団 |



# 隊活動のヒント

vol.7  
カブ編

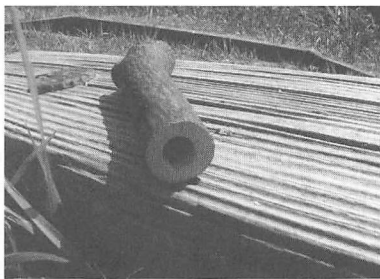
キーワード：工作・触覚・気づき・音・木

| アクティビティ名 | 枝笛作り                                                                           |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------|
| ねらい      | ・ 工作を楽しみ、オリジナルの楽器を作る。<br>・ 木の枝の模様や香り、肌触り、硬さなどの違いに気づく。                          |
| 内容       | 組集会（木の枝探し、工作）<br>隊集会（展覧会、音楽会などや笛の仕組みの発表など）                                     |
| 指導上のポイント | のこぎりやドリル、小刀の安全な使い方の指導をしてください。<br>とても微妙な調整で音が鳴ったり鳴らなくなったりしますので、あきらめないで作業してください。 |
| 準備物      | ノコギリ、木工ドリル（6～10mm程度）、小刀かナイフ、木工用ボンド                                             |

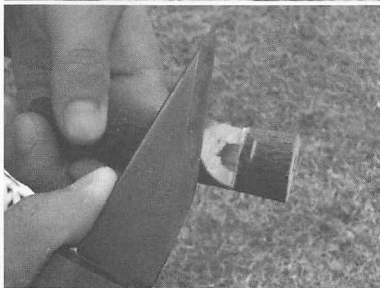
## <進め方>

### 組集会（1）

- ①公園やキャンプ場などで木を観察し、木の種類や木の様子について調べる。
- ②直径15～25mm程度の枝を捜して切る。公園等では枝打ちしたものをもってもよい。枝が折れて落ちているものでもよいが、中が腐っていないか確認する。



- ③切った枝を長さ10cm程度に切る。
- ④穴の径より少し太い枝（直径6～10mm）も用意する。
- ⑤次の組み集会まで木を乾かす。

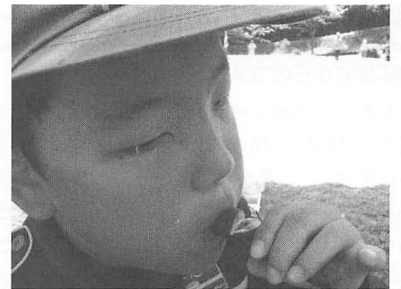


### 組集会（2）

- ①万力などで切った木を固定し、枝の中心にドリルで直径6～10mm深さ4cmぐらいの穴を開ける。
- ②穴を開けた先端から1cmぐらいの所に穴が見えるまでノコギリで切り目を入れる。
- ③切り目に向かって小刀で枝を削る。角度は45°ぐらいで穴が見えるまで削る。
- ④穴の径ぐらいの枝を削りながら穴に栓をする。この時栓の上1～2mm程度を空気が通るように平らに削ること、③の削った所から出ないように

栓をするのがポイント。

- ⑤一番音が出るように栓を調整し、ボンドで固める。
- ⑥穴を開けて紐を通したり、枝を削ってマジックなどで色づけしてもおもしろくなります。



### 隊集会

音楽会・展示会など、各隊で楽しい催しを考えてみましょう。なぜ音が鳴るのか、笛の仕組みや種類などを調べ発表するのもよいでしょう。

スカウト：なかなか音がならないよ。いろいろするなあ。

リーダー：栓の角度や位置を少しずつずらしながら調整してごらん。

スカウト：あっ、ちょっとだけ手前に引いたら音が鳴ったよ。

リーダー：本当にちょっとずらすだけで音が出たり出なかったりするね。

スカウト：同じように作っても、みんな違う音ができるね。

スカウト：この木ちょっといいにおいがするから好きだなあ。

### 『注意事項』

刃物の使い方は事前に指導してください。

木の枝を切る時は許可を取ってください。

### ★ アクティビティ大募集 ★

このコーナーでは、皆さんが隊で実践したプログラムやアクティビティを募集しています。スカウティング編集部「隊活動ヒント・アクティビティ係」まで、どしどしお寄せください。また、編集部と共同でアクティビティを実践して下さる隊も募集いたします。皆さん、ふるってご応募ください！（目次頁下段の宛先まで）



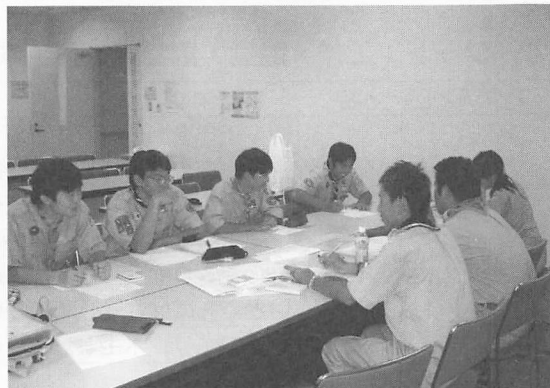
## 活動自慢コンテストとは

各隊のスカウト活動の良いところを積極的に評価し、それを日本連盟、県連盟、また他の隊でのプログラム開発、スカウティングの参考にしてもらうことを主な目的とする。プロジェクト全体を対象とする「マジ自慢部門」と、プロジェクト内の一つの活動を対象に評価する「ブチ部門」の二つを募集。

# 最優秀作品紹介

4月号でも告知いたしました、若いスカウトたちの自慢できる活動を募る「活動自慢コンテスト」。応募状況は一覧表の通りです。

マジ部門の最優秀賞は、愛媛・新居浜第2団VS隊の「LOVE&OOSHIMA」と、奈良・橿原第9団RS隊の「大和ユース議会設立」の二つの活動が同点金賞となりました。今号と次号でそれらの最優秀作品を紹介いたします。



今回ご紹介するのは、「大和ユース会議設立！」というタイトルで応募された奈良からの活動自慢です。

## ●応募者からのコメント

私たち「大和ユース議会」は奈良県連盟に所属する18歳～26歳までのスカウトが隊、団、地区を越えて、集まって活動している組織です。各地区のスカウトが集まり、今後の活動などについて話し合って計画し、共に活動することにより、交流を深めることを活動目的としています。私たちはこれから良き指導者になっていけるよう、かつ自分たちの活動を愛し、自分たち自身も楽しめるように、そしてスカウトとして当たり前のことができるような活動をしていけたらと思っています。まだまだできたばかりの組織ですが、頑張って突き進んでいきたいと思っていますので、応援よろしくをお願いします！

URL : <http://yamato-youth.boy.jp/>

●評（日本連盟ユース特別委員会）

この作品のすばらしいところは、ユース年代が中心になって自ら考え、ラジオ放送、夢ひろば奉仕、プログラム開発などを行っていることです。その活動一つひとつに報告書があり、また実行中のものにあつては経過報告書がきちんと作成され、他のスカウトや指導者にも、今ユースが何をやっているのかがわかりやすくされています。そしてこれらの活動には、ユースの熱い心と実行力を感じることができ、これらの点において高い評価がされました。

## ●入賞、よろこびの声

組織を設立、活動を開始してから1年半になり、最初は見ず知らずだったメンバーが今では最愛の友となりました。今回、こうして活動自慢コンテストで金賞を取れたのも、みんなが一致団結して奈良県のボーイスカウトをよくしていこう！盛り上げていこう！という気持ちにより、受賞できたものだと思います。この受賞を糧にこれからもどんどん奈良県のボーイスカウトのみならず日本のボーイスカウトを盛り上げていけるように頑張りたいと思います！

# 受付フォーム

| お名前(姓・名・フリガナ) |                            | 性別   |               | 年齢 |     |
|---------------|----------------------------|------|---------------|----|-----|
| 姓             | 山田 太郎                      | 性別   | 男性            | 年齢 | 25歳 |
| フリガナ          | ヤマダ タロウ                    | 職業   | 会社員           | 職業 | 会社員 |
| 住所            | 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-2-3 |      |               |    |     |
| TEL           | 03-1234-5678               | 携帯電話 | 090-1234-5678 |    |     |
| Eメール          | yamada.taro@example.com    |      |               |    |     |
| 受付日時          | 2024年10月27日 14:30          |      |               |    |     |
| 受付場所          | 受付窓口                       |      |               |    |     |

| お名前   | 担当部署/係  | 担当者のフリガナ |
|-------|---------|----------|
| 山田 太郎 | 総務課 受付係 | 山田 太郎    |

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

受付内容 (お名前、性別、年齢、住所、TEL、Eメール、受付日時、受付場所、担当部署/係、担当者のフリガナ)

奈良県に所属するユース年代のボーイスカウトの減少や、活動内容のレベル低下などの問題になんとかしなければ！と思い立ち、県内のユース年代のスカウトがみんな集まって一緒に活動していけば、お互いのスキルアップにもなり、よき指導者になるための先駆けにもなるのではと考え「大和ユース会議」を設立しました。

色んな活動に積極的に取り組み、奈良県のボーイスカウトの活性化及び全国のボーイスカウトの活性化につながればと思っています。





## 活動自慢コンテスト応募結果

### マジ部門

| 選考結果 | 県連盟 | 所属                                                           | タイトル                   | アピールポイント                                                                              |
|------|-----|--------------------------------------------------------------|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 金賞   | 奈良  | 橿原第9団RS隊                                                     | 大和ユース議会設立              | 県内のユース年代のスカウトのスキルアップと良き指導者になるために設立                                                    |
|      | 愛媛  | 新居浜第2団VS隊                                                    | LOVE & OOSHIMA         | 新居浜市沖にある大島では、小学生児童が3人となり運動会、文化祭、とうど祭りの開催が困難に。VS隊が地域行事に協力                              |
| 銀賞   | 大阪  | 高槻第1団BS隊                                                     | Let's enjoy!! スポーツ大会!! | スカウト（GB）が地区のスカウトに呼びかけて地区行事としてスポーツ大会を企画、実施（大縄、ドッジボール、表現大会）                             |
|      | 愛媛  | 松山第25団RS隊                                                    | 里山わくわくボーイスカウト式実験キャンプ   | 地元小学校より4年生の夏季キャンプを新方式でやりたいとの要望があり、BS式実験キャンプを実施                                        |
| 努力賞  | 静岡  | 藤枝第1団BVS隊<br>長泉第2団CS隊<br>静岡第7団BVS隊<br>福田第1団CS隊<br>清水第18団BVS隊 | みんなで大きな輪を作ろう!!         | 普段交流のない離れた団との交流と新たな友だち作りのためにミニジャンボリー（合同隊集会）を開催                                        |
|      | 大阪  | 吹田第19団RS隊                                                    | 吹田19団100kmリレーハイキング     | VS隊のBIGプロジェクト、「奉仕活動」アワードに挑戦。BVSからRS・団委員までが東海自然歩道を6つに分けてそれぞれの隊活動としてハイキングを実施、タスキをつないで完歩 |
|      | 東京  | 品川第6団RS隊                                                     | 活動紹介カードを配れ             | ウェブサイトのURLとメールアドレス、団委員長との連絡先が入った紹介カードを作成し常時持ち歩いて配布                                    |
|      | 東京  | 品川第6団RS隊                                                     | ユースの活動をよりアクティブに        | ユースチャンネルというユースのためのサイトを運営、ユースが自らの活動の可能性を広げ、課題解決の助けとなるように                               |
|      | 愛知  | 安城第3団CS隊                                                     | NBSラリー（日本ボーイスカウトラリー）   | 実はナゴヤ・バス・サブウェイの略<br>名古屋のバス・地下鉄1日乗車券でのラリー                                              |
|      | 岐阜  | 多治見第3団CS隊                                                    | 新春黄金スポーツ大会             | ビーバーからローバー、指導者、保護者、保護者OBがそれぞれチームを編成し、スポーツ、ゲーム、餅つきで交流                                  |
|      | 岐阜  | 多治見第3団CS隊                                                    | 電車でGO～たった1つの真実を見抜く～    | カブとボーイが電車と地下鉄を利用して名古屋市内見学へオリエンテーリング                                                   |
|      | 大阪  | 高槻第1団BS隊                                                     | Scout X'mas!!          | 初めてのスカウトだけのグリーンバーミーティングでクリスマス会を企画し、スタンプ、ビンゴ、マジック等を実施                                  |

### プチ部門

| 選考結果 | 県連盟 | 所属        | タイトル                         | アピールポイント                                                           |
|------|-----|-----------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 金賞   | 岐阜  | 多治見第3団CS隊 | しあわせ!! カブスカウト計画              | 毎年8月に行われる夏季合同舎営行事をスカウトの基本動作、技術等の指導と発表の場に                           |
| 銀賞   | 東京  | 目黒第7団BS隊  | 花より餅                         | 新年度にユーススカウトでお花見と餅つきを実施、GSや一般の方とふれる機会に                              |
| 努力賞  | 奈良  | 橿原第9団RS隊  | ラジオ番組制作                      | 大和ユース議会メンバーがパーソナリティからディレクター、ミキサーをこなしFM放送を実施（H18年4月～9月、毎月第3土曜日に30分） |
|      | 愛媛  | 新居浜第2団VS隊 | 100kmハイク                     | 伊予市から宇和島市までの100kmハイク。2割は体力、2割は精神力、6割はサポート隊の力                       |
|      | 宮城  | 泉第1団RS隊   | 結婚相手にいかにスカウティングを理解させることができるか | 結婚披露宴でネッカチーフ授与式を実施し、奥さんの理解と協力を求める                                  |
|      | 東京  | 町田第9団RS隊  | 2005年5月 @福岡県・博多              | 日本連盟全国大会が一新され、初めて参加。この経験を他のスカウトにも伝える方法としてモバイルとブログによるHPを作成          |
|      | 大阪  | 高槻第1団BS隊  | スケッチ TO スピーチ (≧▽≦) !!        | 絵や話し方が上手くなるように活動にスケッチとスピーチを入れた                                     |



次号もお楽しみに…!!



## 袖ヶ浦第1団 伊藤 大志

14 N J は自分にとって心に残るものになり、また己のスカウト精神や技術の向上の糧となりました。今回のジャンボリーでの自分の目標は、まず友だちを作ること。次にスカウトらしいスカウトの行動、技術を備えるための糧を収穫することです。

蛇口をひねれば水が出る、ボタンを押せば電気がつく、というのではなく、実際に過ごしたジャンボリー期間は不便ではありましたが、石川の自然をたっぷり味わいました(汗)。不便な中で生活でしたが、その分失うものもあれば得るものもある、と思いました。

得たものは自然だけではありません。新しい友情、スカウトらしい行動、どんなことを言われても顔に出さない平静な心、そしてボーイスカウトのすばらしさ。

こんなすばらしい経験を忘れないと思います。



## 君津第2団 鳥取 将之

今回学んだことで自分が最も強く感じたことが「仲間」についてです。この「仲間」について2つあります。

1つは「ボーイスカウトはみんな友だち」ということです。派遣隊の隊員やリーダーの方々、みんな知らない人たちでなかなか話をすることができませんでした。結隊式、訓練キャンプ、14 N J の中で班としても隊としても一つにまとめることができました。他県のスカウトとも仲良くなることができました。

2つめは「仲間と協力すること、仲間の大切さ」です。今回の長いキャンプは仲間と協力したからこそ成功したし、多くの仲間がいてくれたからこそとても楽しい思い出がたくさんできたんだと思います。

15 N J にも奉仕隊として参加できたらいいなと思っています。来年イギリスで行われる世界ジャンボリーも頑張ってきたと思います。

## 君津第2団 日高 大

長時間のバス、SCへの長い道、たくさんの資材運び、テントの組み立てと忙しい1日目、こんなんで14 N J を乗り切ることができるかと心配でした。

2万人のスカウトが集ってくる開会式で、初めてジャンボリーにきた!ということを実感。翌日のプログラムは道に迷って参加できず、大集会では野口さんと皇太子様に興奮。その翌日は隊の交流会で楽しい時間を過ごし、閉会式ではなんとあの名の知れたアフロマニアの歌も聞き、花火の感動はもう言葉で表せませんでした。

この14 N J でたくさんの思い出とたくさんの経験をもらいました。行く前には馬鹿にしていた高い参加経費をはるかに超えた価値のある、一生の宝物です。ぼくはこの14 N J に参加したことを誇りに思います。

## 君津第2団 榎本 志穂

始めは暑かったり、やることがわからなかったり間違えたり、大変なこともたくさんありました。班の仲間とも全くなじんでなくて心配でしたが、みんなが少しずつ声をかけあったり、自分から動いてくれたりして、本当にいい班になりました。私は、このキャンプが楽しくなかった、いかなきゃよかったという人はいないと思います。だってみんなすごく楽しそうで、最後のバスでは別れたくなさそうだったから。閉会式の花火のときは本当に泣きそうでした。また同じメンバーでいきたいです。

家に帰ってから、私はキャンプが好きなんだなあと改めて思いました。友だちとずっといられるからっていうのも多分あるけど、なんかみんなでいろいろするのが楽しいです。時間を大切に使うとか、人まかせにしないとか、友だちの大切さとか、ジャンボリーで学んだことを忘れずにこれからも生活していきます。



# 14 N J に参加した

## 木更津第2団 剣持 裕也

バスに揺られること10時間、やっとの思いで能登半島先端の珠洲市へ到着。炎天下での地獄のような設営でジャンボリーが始まった。

開会式は感動して鳥肌が立つほどだった。山梨のスカウトと交流をしたり、いろいろなスカウトとワッペンやチーフリングを交換したり、あっという間に閉会式。開会式にも劣らず凄かった。その最後は美しくて大きい花火。翌日、また炎天下で徹営作業をして、楽しくもあり辛くもあったジャンボリーが終わった。

7日間という長くて短い時間でしたが、スカウト技能の向上ができ、いろいろな県のスカウトと友だちになれたので、中学生最後の夏は絶対に忘れることのない良い思い出になりました。

## 木更津第2団 高橋 康平

他団のスカウトと同じ敷地でキャンプしたことはあっても、同じテントで過ごすのは初めてです。自分たちは他の団のスカウトよりも劣っているのでは、と不安でした。

そこで私はジャンボリーの目標に「仲間だけでなく、他県、外国のスカウトにも遅れをとらない」「上手な人からは技を盗む」という何かの職人のようなことを決め、実践しました。

2万人もスカウトがいれば、自分たちに足りないものを見つけるのはさほど難しいことではありませんでした。私たちに足りないのは行動を始めるタイミングの早さだと気づきました。ジャンボリーは知らないスカウトとの交流だけでなく、自分たちの短所に気づくことができる場でもあるすばらしい集いだと思いました。



# にジャンボリーの感想文を送ってくれましたのでご紹介します。

## 木更津第2回 齋藤 龍一

日本ジャンボリーで一番楽しみにしていたのは、以前ぼくの団にいて2年前に引っ越してしまった茂垣君と会うことです。茂垣君は兵庫でボーイスカウトは続けていたのでジャンボリーで会えたらいいと思っていました。SCが遠いので会えないかと思っていましたが、茂垣君が会いにきてくれてビックリしました。

期間中2回も会いにきてくれてとても嬉しかったのに、恥ずかしかったので「ありがとう」と最後までいえませんでした。だけど、ボーイスカウトを続けていてよかったと思いました。離れていても友だちでいられてよかったと思いました。



## スカウトの声

## 木更津第2回 藤浪 省太

今回の自分の目標は「てきぱきと行動する」「自分で何をするか考える」でした。初めてのジャンボリーでかなり緊張しましたが、この目標をしっかり守って行動することはいつも考えていました。設営での荷物運びやタープ張りの手伝いなどで反省点はありますが、そのほかは整列も素早くできたり、食事当番もスムーズにできてとても良かったです。

今回のジャンボリーを通して、ぼくはボーイスカウトは仲間との協力だな、と改めて実感しました。派遣隊では木更津のほかのいろいろな隊と一緒に行動しましたが、大会中に絆を深め、協調性を持って様々なことを成し遂げられたと思います。

暑中、みんな一生懸命になって5日間を過ごせてとてもよかったと感じています。

## 木更津第2回 藤浪 啓太

ぼくが14NJで得られたものはとても大きく、とても多かったと思います。中でも特別なものを4つ紹介します。

1つめは「友情」です。ジャンボリーでは団を超えた仲間と隊を組み、全国のスカウトとも仲良くなりました。

2つめは「根性」です。苦しいことはたくさんありましたが、文句をいわずにしっかり取り組みました。黙ってやり抜く力は将来役に立つと思います。

3つめは「協力性」。設営、炊事、徹営などを通してこの力が得られました。学校でも生かせたいなと思います。

最後は「決断力」です。指示を受ける前にまず自分で何をすべきか考え、それを行動に移す。まさにボーイスカウトにはこの力が必要なのではないのでしょうか。

逆に「迅速な行動」は足りず、期間中毎日のように注意されました。これはよく反省して、日ごろの活動や4年後の15NJに生かしていきたいと思います。



## 君津第2回 木村 理絵

14NJに参加して、日本には本当にたくさんのスカウトがいるのだと改めて実感しました。同時に、皆が自分と同じように活動していることを知って嬉しくもなりました。

私の班には1人の韓国スカウトと一緒に生活しました。最初はお互いに緊張して何を話したらいいかしらうもどろどろでしたが、だんだんと仲良くなることができました。お互いに片言の英語ながらもわかる範囲で会話をし、お互いの国の言葉や文化を教えあったりもして、本当に貴重な体験ができたと思います。

班長としての不安などもありましたが、国を超えて交流することの楽しさ、人と協力して物事を終えたときの達成感、そして人と笑いあうことの楽しさと、このジャンボリーで起こったこと、思い出は決して忘れられない大切な宝物となりました。ジャンボリーの経験を生かして、これからもスカウト活動が続けたいと思います。



## 君津第3回 反町 有希

昨年、千葉県キャンボリーのあと、日本ジャンボリーの話があった。ぼくはすぐに行きたくなった。何度が集会を重ね、見知らぬ人と友だちになれた。約1年がたち、いよいよ出発の日がきた。石川県についてからは毎日が慌しく過ぎた。

ぼくが一番に残っているのは、海が千葉の海と違って、きれいで遠浅だったこと。人の多さにも驚いた。千葉県キャンボリーとは比べ物にならないほどの規模の大きさに驚きました。ぼくはジャンボリーに参加できて良かったです。

当然ながらスカウト一人ひとりがそれぞれ異なる感想を持っているということを再認させてくれるこれらの感想文。改めて2万人のジャンボリーには2万通りのドラマがあるのだなと実感します。

指導者の皆さんからも、ぜひジャンボリーでお感じになったことなど、お寄せいただければと思います。



本誌宛直接感想文をお送りいただいた第1号ということで今回一挙まとめてご紹介しましたが、スカウトたちの感想文を今後お送りいただいても掲載できる誌面がなかなかとれないかと思っています。何卒ご容赦ください。



# 全国ボーイスカウトゆかりの地探訪

## ④日本スカウト運動先達の名付けた沼・神仙沼～北海道



6月号の本稿でご紹介した、日本のスカウト運動の先駆者の一人、下田豊松先達。氏とその仲間たちが昭和3（1928）年に発見し名付けた沼が、今もその名のまま地図に記されています。その名は「神仙沼」。神や仙人の住む沼として名付けられたものです。

札幌の西方、積丹半島の西の付け根のあたりが、岩内郡。道道66号線（岩内洞爺



線）のうち、岩内町とJRニセコ駅の区間はニセコパノラマラインと呼ばれる美しい風景の続く道。羊蹄山・ニセコアンヌプリ連峰、日本海と変化に富んだ風景を眺めることができるその道は、周辺に温泉やキャンプ場、スキー場もある人気のドライブコースだそうです。



その途中の神仙沼自然休養林休憩所から、トレッキングコースとしても親し

まれている木道を歩くこと約20分、標高760mの地点に神仙沼はあります。ニセコで最も美しく神秘的といわれるその沼は、湖面が鏡のように周囲の自然林を映し、訪れる者を魅了します。

昭和初期にボーイスカウトのためのキャンプ地を探してこの沼に行き当たったという下田豊松先達一行は、どれほどその美しさに魅せられたことでしょう。

先達のご子息、下田真氏の書かれた「神仙沼 発見、命名」という文章には、発見の様子が次のように書かれています。



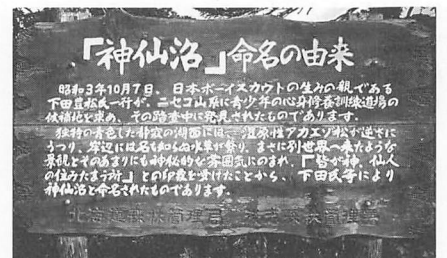
背丈を超える笹藪を分けての大難行の末、漸く湿原へ出た所で、地図には名は勿論、記号も無い小沼を発見、そのあまりにも神秘的な景観に、一同しばし声も出ない程であった。

太陽は西に傾いて、独特の青色をした沼面には、盆栽を大きくした様な独特の枝振りをした湿原性アカエゾマツが逆さに映り、岸边には名も知らぬ水草が茂って、まさに別世界へ迷い込んだ様な感慨に浸った。



紅葉の神仙沼

活動の場を求めて湿原を分け入ったボーイスカウトの先達たちの冒険に思いを馳せながら、大自然を満喫できるゆかりの地です。



### 看板文面

#### 「神仙沼」命名の由来

昭和3年10月7日、日本ボーイスカウトの生みの親である下田豊松氏一行が、ニセコ山系に青少年の心身修養訓練道場の候補地を求め、その踏査中に発見されたものであります。

独特の青色した静寂の湖面には、湿原性アカエゾ松が逆さにうつり、岸边には名も知らぬ水草が繁り、まさに別世界へ来たような景観とそのあまりにも神秘的な雰囲気とのまれ、「皆が神、仙人の住みたまう所」との印象を受けたことから、下田氏等により神仙沼と命名されたものであります。

### ■アクセス

#### ●住所

北海道岩内郡共和町前田  
北緯42度54分15秒、東経140度35分34秒

#### ●アクセス

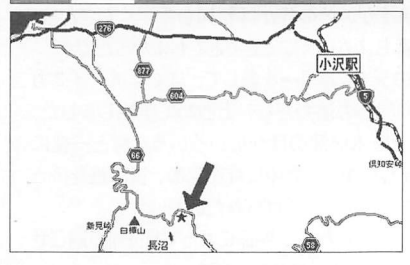
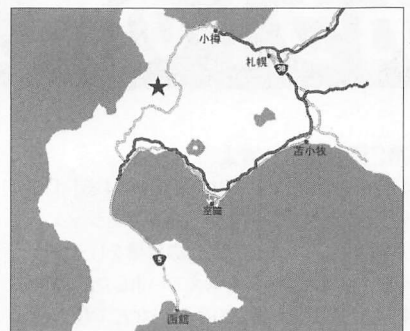
JR 函館本線小沢駅より車45分

#### ●駐車場

あり（無料）81台

#### ●お問い合わせ

共和町役場商工観光係  
電話 0135-73-2011





# ～「本はただ一つ」～

宗教関係代表者会議構成員 辻中 昭一

イギリスの詩人であり作家のウォルター・スコットが病気になる、いよいよ死期が近くなった。看病していた友人に「私を図書室の窓のそばに運んでください。」と言った。彼がその通りにすると、さらに「本を読んでもらいたい」と頼んだ。彼が「どの本ですか」と尋ねると「今さら問われる必要はありません。どんな本にも用はありません。ただ一つの本である聖書だけです」と答えた。そして、ヨハネ福音書第14章を読んでもらい、「ああ、これは実に大きな慰めだ」と言って喜んだ。

このスコットと同じように、聖書（バイブル）によって人生の危機を乗り越えた人たちが、世界中にたくさんいる。

聖書は世界のベストセラーの一つです。

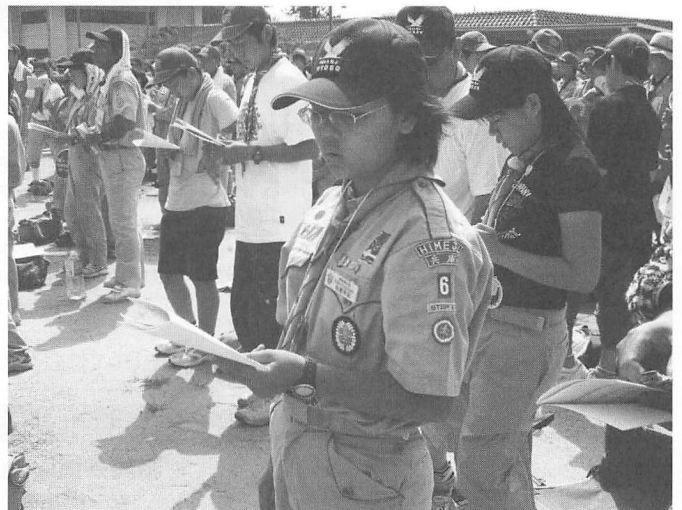
しかし、聖書の内容をよく理解している人の数は比較的少ない。その聖書を物語風に書きあげられたのが吉住英和先生である。その本の題は「聖書ものがたり」（旧約聖書編）である。その内容は二つに分けられている。

前の方は旧約聖書とよばれ、ここにはアブラハム、イサク、ダビデ、ソロモンその他の人々が登場する。英語のエイブラハム、アイザック、ディビッド、ソロモンなどの名を持つ外国のスカウトに出会ったら「あなたの名は旧約聖書からとられたんですね」と話しかけたら、相手はびっくりするだろう。

後半は新約聖書とよばれている。ここにはマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ、パウロ、ペテロなどの人々が登場する。英語のマシュー、マーク、ルーク、ジョン、ポール、ピーターの名は新約聖書からとられたと考えられる。これらの名前の外国スカウトに出会ったとき、「あなたの名は新約聖書から取られたものですか」と聞いてみよう。そうしたら、思いがけない返事や質問が

飛び出すかもしれない。

たとえば『小林』という名はどんな意味ですか」とか『一郎』とはどんな意味ですか」とかのような質問が出てきた時、「私にはわかりません」と答えなくて、できるだけゆっくり返事をしよう。それによって、良い国際交流が生まれてくる。



## おすすめの冊

### やさしい 聖書ものがたり

旧約聖書編

吉住英和 絵 松田竜雄



『やさしい聖書物語（旧約聖書編）』

創元社発行 1,680 円

内容は旧約聖書の内容をやさしく説明しているものです。高校生ぐらいに年齢層の人々を対象としています。吉住氏の文章とともに挿絵がたくさん入れられています。これらを眺めるのもなかなか楽しいです。この本は、旧約聖書だけを取り扱っています。著者は将来、新約聖書編を発刊したいと考えています。



# INFORMATION

NOVEMBER  
2006

## 日本連盟からのお知らせ

### ■9月教育本部常任会議の開催(報告)

日時: 9月17日(日) 13:00~16:00  
場所: 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター  
出席: 伊藤教育本部コミッショナー他9人、参席4人  
協議事項: 1. 平成18年度事業の中間評価について  
2. スカウト運動推進委員会提言への進捗状況確認について  
3. 平成19年度事業方針とそれに基づく事業素案について  
4. スカウト運動推進委員会提言関係以外の各委員会からの調整事項等について

### ■障害児スカウティングに関する意見交換会の開催(報告)

プログラム委員会(障害児スカウティング検討チーム)により一昨年にとりまとめられた「特別な配慮を必要とする青少年のスカウティングについての報告」を基に、教育本部関係者などによる意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、現状の障害児スカウティングを理解することを主な目的として開催し、今回はスカウト運動内に留まらない「特別な配慮を必要とする青少年とその環境」について理解を深めました。また、今後についても必要に応じて意見交換会などを開催することとしました。

期 日: 9月17日(日) 16:00~18:00  
場 所: 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター  
参 加: 伊藤教育本部コミッショナー他7人

### ■世界スカウト運動100周年記念

#### 平成19年度全国大会実行委員会(第3回)開催(報告)

日時: 9月27日(水) 14:00~16:30  
場所: 東京・日本工業倶楽部  
出席: 橋本委員長他5人  
協議事項: 1. 全国大会実施要項について  
2. 記念レセプションの開催について  
3. 実施に関わるスケジュールについて  
4. 運営組織について  
5. 実施予算概案について  
6. 作文コンテストの実施について

### 平成18年度共同募金運動

中央共同募金会では今年で60回目を迎え、スローガンに「地球の福祉、みんなで参加」を掲げ、10月1日から12月31日まで、全国一斉に運動を展開します。  
ますます進展する少子高齢社会の中にあって、地

域の福祉事業を支援する共同募金に期待が寄せられています。また、共同募金はホームページを通して、全国の市町村における共同募金の配分内容を検索できます。

各団におきましても、共同募金の主旨をよく理解の上、ご協力をお願いします。

[www.akaihane.or.jp](http://www.akaihane.or.jp)

### APR行事 第3回アジア太平洋

#### エア(無線)ーインターネット ジャンボリー

8月5日(土)~6日(日) アジア太平洋地域行事「第3回APRエア(無線)ーインターネット」が実施され、14NJ会場の8J100S/9やボーイスカウト会館の8J1Sが参加、中国(台湾)連盟BP100SやJA4YSSなどのスカウト局と交信ができました。



### 〈お詫びと訂正〉

#### ●10月号14頁に誤りがありました。

(誤)【三重】横山 己佐雄  
(正)【三重】梶山 己佐雄

#### ●クラブスカウト秋冬号22頁に誤りがありました。

(誤)東京・町田第9団 新町 敬策  
(正)東京・町田第9団 牧田 准

お詫びして訂正いたします。

### ご支援ありがとうございます

\*維持会員(敬称略) スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の皆様です。

#### 2006年度8月度

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【北海道】<br>B S 旭川 18<br>大 橋 和 子<br>北 秀 継<br>志 渡 洋 一<br>B S 帯広 6<br>【青森】<br>柿 崎 隆 昭<br>奥 崎 一 平<br>奥 寺 一 廣<br>高 野 修 司<br>葛 西 亮<br>照 井 大 観<br>梅 村 芳 宏<br>苫 米 地 俊<br>入 間 正 智<br>根 岸 英 樹<br>高 谷 道 造<br>【岩手】<br>戸 田 宏<br>嘉 村 耕<br>沢 館 栄 三<br>阿 部 二 三 雄<br>【宮城】<br>安 達 清 守<br>B S 仙 台 27<br>加 藤 寿 光<br>和 田 孝 生 | (株)橋浦電設<br>松 岡 健 美<br>【秋田】<br>(有)サンケイホーム<br>石 田 誠 一 郎<br>大 河 内 幸 久<br>【山形】<br>稲 葉 信 隆<br>(株)山形新聞社<br>【福島】<br>赤 城 良 一<br>酒 井 寿<br>【茨城】<br>橋 本 千 代 寿<br>刈 部 操<br>橋 本 久 子<br>【埼玉】<br>星 谷 光 市 郎<br>熊 木 誠 一<br>浅 倉 孝<br>伊 工 コ 計 画<br>伊 東 通 夫<br>【千葉】<br>網 中 喜 一 郎<br>嶋 村 信 也<br>早 坂 典 男<br>新 行 内 正 巳<br>齋 藤 文 治 | 西 出 功<br>佐 藤 秀 樹<br>【神奈川】<br>石 井 文 吉<br>仲 戸 川 勲<br>若 野 隆 生<br>水 野 英 明<br>大 熊 康 彰<br>伊 藤 幸 夫<br>三 宝 商 事 (株)<br>飯 田 勇<br>西 村 雅 博<br>B S 板 橋 14<br>深 津 信 義<br>原 田 正 吾<br>(株)吉田商店<br>市 原 照 雄<br>B S 北 1<br>岡 田 美 作<br>荒 井 良 夫<br>豊 泉 喜 一<br>廣 田 忠 三<br>B S 大 田 1<br>大 橋 仁<br>安 野 哲 子<br>飯 塚 和 男<br>B S 練 馬 15 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 松 本 弘 道<br>齊 藤 至 弘<br>室 橋 幸 三 郎<br>高 橋 一 夫<br>真 山 明 夫<br>川 村 昌 久<br>野 村 和 男<br>落 合 正 男<br>【新潟】<br>(株)サトウ産業<br>(株)新潟総合学院<br>新潟信用金庫<br>小 熊 勇 司<br>西 澤 哲 司<br>長 谷 川 義 明<br>尾 崎 千 尋<br>馬 場 賢 一<br>鈴 木 正<br>渡 辺 敏 彦<br>小 林 満<br>星 野 義 男<br>斎 藤 正<br>丸 山 光 雄<br>渡 辺 研 二<br>【富山】<br>布 村 清<br>B S 富 山 県 連 盟<br>橋 本 峰 子<br>【石川】<br>鯨 谷 佳 和<br>若 杉 幸 平<br>山 上 隆 裕<br>米 沢 電 気 グ ル ー プ<br>(株)タニムラ<br>【福井】<br>B S 福 井 2<br>B S 勝 山 3<br>齊 川 忠 男<br>【長野】<br>花 岡 正 人<br>小 嶋 理 恵 子<br>【岐阜】<br>日 比 野 光 男<br>遠 藤 一 美<br>松 岡 正 澄<br>矢 島 武<br>松 岡 洋<br>【静岡】<br>土 山 和 雅<br>小 野 田 実<br>松 本 俊 信<br>岡 沼 隆 志<br>廣 瀬 鈴 吾<br>瀬 戸 祥 一<br>木 村 清 治<br>滝 島 三 郎<br>寺 田 昂<br>齊 藤 斗 志 二<br>渡 辺 紀<br>池 谷 千 幸<br>小 野 健 吾<br>【愛知】<br>坂 田 正 孝<br>西 尾 博 雄<br>天 野 エ ン ザ イ ム (株)<br>B S 名 古 屋 1<br>大 島 幸 雄<br>垣 内 重 正<br>大 脇 博<br>旭 正 金<br>安 達 忠 夫<br>小 栗 宏 次<br>後 藤 澄 夫<br>松 井 清<br>笹 木 硯 一<br>西 洞 正 次<br>岡 谷 篤 一<br>小 泉 重 雄<br>林 永 治 郎 | 山 田 肥 名 子<br>【三重】<br>(株)アレクシード<br>長 井 英 雄<br>【滋賀】<br>佐 々 木 義 璋<br>仲 野 宗 忠<br>岡 宗 夫<br>【京都】<br>石 清 水 八 幡 宮<br>堀 場 真 造<br>栢 分 英 助<br>奥 村 光 伸<br>B S 京 都 14<br>中 村 安 正<br>高 林 伸 樹<br>岡 本 和 郎<br>齊 藤 亮 司<br>【兵庫】<br>知 輝<br>山 田 雄 美<br>横 野 宗 彦<br>大 島 久 子<br>喜 多 敬<br>喜 多 敬<br>(株)ファミリア<br>吉 井 睦 郎<br>橋 本 浅 男<br>橋 本 健 司<br>日 下 孝 明<br>榎 本 善 順<br>藤 本 浩 史<br>【奈良】<br>田 鍋 誠 一<br>細 川 恵 司<br>高 橋 成 男<br>B S 奈 良 19<br>綿 谷 正 祥<br>松 下 武 雄<br>【和歌山】<br>(株)遍照尊院<br>楠 見 製 材 (株)<br>中 井 暁<br>堤 啓 治<br>山 中 邦 義<br>石 谷 幸 稔<br>山 田 照 夫<br>星 合 史 雅<br>【大阪】<br>B S 豊 中 2<br>B S 枚 方 3 育 成 会<br>上 野 武 男<br>B S 大 阪 140<br>B S 和 泉 2 育 成 会<br>角 野 昭 炳<br>B S 豊 中 14 育 成 会<br>B S 大 阪 72 育 成 会<br>氏 原 武 男<br>観 野 彦 次<br>赤 塚 廣 之<br>【島根】<br>池 央 スカウト育成会<br>井 口 誠<br>【愛媛】<br>坂 田 正 孝<br>西 尾 博 雄<br>天 野 エ ン ザ イ ム (株)<br>B S 名 古 屋 1<br>大 島 幸 雄<br>垣 内 重 正<br>大 脇 博<br>旭 正 金<br>安 達 忠 夫<br>小 栗 宏 次<br>後 藤 澄 夫<br>松 井 清<br>笹 木 硯 一<br>西 洞 正 次<br>岡 谷 篤 一<br>小 泉 重 雄<br>林 永 治 郎 | 【愛媛】<br>B S 松 山 16<br>井 上 勝<br>【高知】<br>信 清 武 弘<br>【福岡】<br>藤 秀 暢<br>B S 筑 紫 2 育 成 会<br>安 藤 英 典<br>脇 本 淳 一<br>丸 林 茂 夫<br>【佐賀】<br>(有)旅館あけぼの<br>大 山 巳 年<br>田 口 悟<br>奥 嶋 正 美<br>久 嶋 辰 男<br>石 丸 弘 光<br>【熊本】<br>中 村 祝 男<br>中 島 巖<br>【大分】<br>戸 高 有 基<br>永 田 秀 忠<br>芳 山 恵 祐<br>中 島 哲 郎<br>【宮崎】<br>上 田 圭 介<br>河 野 一 平<br>大 浦 秀 幸<br>(有)クボオフィスマシン<br>山 本 卓 也<br>【鹿児島】<br>大 西 洋 逸<br>蔵 元 靖 三<br>【沖縄】<br>冲 縄 瓦 斯 (株)<br>湧 川 昌 秀<br>【日本】<br>吉 田 宏<br>共 立 印 刷 (株)<br>三 井 物 産 (株)<br>綿 貫 民 輔<br>(株)日本経済団体連合会<br>(株)東 芝<br>(株)アポロ工芸<br>(株)東 電 通<br>平 沼 超 夫<br>古 賀 誠<br>中 川 昭 一<br>B S 大 阪 県 連 盟<br>東 洋 紡 績 (株)<br>第一企画印刷(株)<br>(株)トキハインダストリー<br>麻 生 太 郎<br>藤 間 秋 男<br>坂 口 満<br>鬼 塚 喜 八 郎<br>服 部 禮 次 郎<br>(株)三 洋 堂<br>(株)平 和<br>全 国 神 社 スカウト 協 議 会<br>高 野 隆 治<br>(有)ニシタ織機工芸<br>アルプス電気(株)<br>ニッセイ同和損害保険(株)<br>(株)関 美 工 堂<br>アサヒビール(株)<br>山 口 英 一<br>鈴 木 泰 二 郎<br>河 合 武 夫<br>林 康 兵<br>仲 嶺 眞 情<br>檀 上 善 夫<br>加 藤 忠 雄<br>行 武 孝 人<br>小 森 隆 司<br>高 橋 清<br>佐 野 哲 也 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 15





団・地区・都道府県連盟だより

## ◇ある日のメール

突然のメール失礼いたします。

私は過去、カブスカウトからボーイスカウトまでの数年間、スカウトとして活動していたものです。スカウト活動から遠ざかっていても、各種ボランティア等でボーイスカウトの方が活躍されるのを見るにつけ、彼らの活動を常に心から応援しております。

さて、本日夕刻、電車にカブスカウト15人くらいの集団と乗り合わせました。

正直私は目を疑いました。

列車がホームに入ってくるや、彼らはドアを集団で取り囲み、降車する人たちが降りられないほどの勢いで列車に乗り込むと、我先にと席の取り合いを始めました。降りようとするお年寄りが倒されそうになり、大変危ない状態でした。私も先頭に並んでいたにもかかわらず、彼らの乗車が終わるまで列車に乗りませんでした。これだけでも驚きだったのですが、引率の隊長らしき男性もこれを咎めない始末。スカウト精神はどこへ行ってしまったのでしょうか？カブスカウトにも「やくそく」と「さだめ」があったように記憶しておりますが。

私はボーイスカウトを引退するとき、指導者の方に「スカウトは引退してもスカウト（永遠のスカウト）だ」と言われました。この一言はいまだに私の誇りとして心に残っています。しかしながら、他の真摯な姿勢で活動しているスカウトや、社会の方々に対し失望を与えるような行為をし、かつそれを正すべき指導者までが放置してしまつては、スカウト精神の根幹が揺らいでしまうのではないのでしょうか？

この件については、私も社会人として、そして元ボーイスカウトとして憤りを感じておりますが、御連盟におかれましては、スカウト活動の発展のために益々お力を注がれることを切に望みます。

元スカウトながら、外部の人間がここまで申し上げるのは甚だ失礼とは存じております。平にご容赦ください。

元加盟員の方から上記のメールを日本連盟にいただきました。皆さんと一緒に考えたいと思います。

## 栃木

### ●那須野営場に植樹と清掃

河内第1団 副団委員長 池田 公延

スカウトの日の活動として、9月10日、那須野営場に植樹しました。当団は今年30星霜にあたる年であり、その記念を兼ねて行いました。

場内にあるB-Pの足跡の碑を彩ろうと、碑の傍らに日本を象徴する国花「さくら」を植えて、B-Pに日本の名花を堪能していただくとともに、B-Pの偉大な足跡に敬意を表するため、桜の種類を「しだれ桜」にしました。

しだれ桜は大人の二の腕くらいの太さ、樹高約3メートルで、来春には咲きはじめるとのこと。

植樹には、ビーバー、カブ、ボーイスカウト全員が参加し、造園を得意とする宮越ボーイ隊長の指導で、一人ひとりがスコップで土かけしたり、水やりを行い、参加意識の高揚と桜の生長とともに、自らの成長を誓いました。

また、スカウトの日として、野営場本館の窓ガラスをモップ、布でピッカピカに清掃し、スカウト仲間が気持ちよく利用できるよう、奉仕を実践しました。



## 鹿児島

### ●車椅子磨き奉仕活動

曾於第6団 ボーイ隊副長 諸留 貴久

曾於第6団では、特別養護老人ホームの車椅子磨き奉仕活動を、昭和58年から毎年1回

## 東京

### ●外国派遣団と交流会

世田谷第8団 団委員長 大塚 亜夫

ボーイスカウト世田谷第8団（大塚亜夫団委員長）は、8月19日（土）に外国スカウト34名との交流会を実施した。  
8月3日から7日まで石川県の珠洲市で開催された第14回日本ジャンボリーに参加し、スコットランド隊26名と、イングランド隊8名がジャンボリー終了後、各地でホームステイなどを実施。最終日の19日（土）

## 外国派遣団と交流会

には、世田谷第8団が引き受けて交流会を行った。  
宿泊は団本部のある北澤八幡神社の大広間にシニラフ（寝袋）で泊まり、17時から、姉妹団のガールスカウト東京都第117団スカウトの巫女姿での「舞」を、お神楽殿で鑑賞し、その後19時から下北沢一番街商店街振興組合の主催する阿波踊りに参加。終了後、目黒区にある大江戸東山温

## ボーイスカウト世田谷第8団

泉で汗を流した。  
阿波踊りは、振興組合の計らいで踊りの衣装を揃えて頂き、外国スカウトの特別参加を認めて頂いた上での参加、なれない日本での阿波踊りと言う伝統芸能と、公衆温泉体験を堪能し、翌日、成田空港から思い出を胸に一路母国に向った。  
（大塚亜夫・記）

世田谷新聞（2006.8.24）



### ●車椅子磨き奉仕活動

曾於第6団 ボーイ隊副長 諸留 貴久



実施しています。敬老の日の前に実施しており、今年で24回目となります。

特養の車いす20台磨いてピカピカに  
ボーイスカウト曾於第6団の子どもたちが二日、曾於市末吉町岩崎の特別養護老人ホーム「輪光無量寿園」を訪れ、お年寄りが利用している車いすを磨くボランティア活動に汗を流した。写真。  
同ボーイスカウトでは「おじいちゃん、おばあちゃん喜んでくれるのが何よりうれしい。ピカピカに磨いてまた気持ちよく使ってもらいたい」と話していた。

南日本新聞（2006.9.9）

## ■第49回ボーイスカウト富山県大会「上市大会」

上市第1団 団委員 久我 奈美子

好天に恵まれた4月30日(日)、県下39団、約2,100人のスカウト関係者が参加して第49回ボーイスカウト富山県大会が、上市町内と丸山総合運動公園内で開催されました。地元で開催された大会の実行委員に、初めて広報係長として参加しました。民話が豊富な剣岳のふもと上市にちなみ、大会テーマを「試練と憧れ～輝く剣の里で～」とし、午前中の祭典部門では、ビーバースカウトでは「上市むかしむかし大冒険」、カブスカウトでは「ロードオブザツ

ぎ(魔の山)」、ボーイスカウトでは「早月尾根」、ベンチャースカウトでは「自然との共生」をそれぞれに掲げ、シティウォーク形式の様々なプログラムを展開し、小学1年生親子の一般参加者も募集しました。

広報事前活動には、新聞・町広報誌・ケーブルテレビなどの報道関係への取材依頼や、一般参加者募集のパンフレット作成、FMラジオ出演、また前日には、スカウト活動の紹介や自然物を使った工作・立ちかまど実演等を行い、広く上市町民の方々へボーイスカウト運動を知っていただく場としてスカウト展を開催し、その開催PRと撮影など、大会全般をPRする活

動をしました。当日はいきいきとしたスカウトたちの姿を追いかけて、写真・ビデオの撮影を行い、たくさんの感動を残しました。また、大会後には新聞各社、県下全域のケーブルテレビに、ボーイスカウト県大会の様子を放送してもらうことができ、広報担当として、すごく頑張った活動結果となりました。

来年は50回記念大会とボーイスカウト創始100周年という節目の年で、4月28日(土)～30日(月)の3日間、太閤山ランドで行う県大会の準備がすでに始まっています。スカウトたちのたくさんのすてきな姿をフォーカスして、ボーイスカウトの輪を広げていきたいと思っています。

## 仲間とゲームで交流

上市でボーイスカウトが一堂に集い、さまざまな活動を通して交流を深めた。北日本新聞社協

第四十九回ボーイスカウトが一堂に集い、さまざまな活動を通して交流を深めた。北日本新聞社協

「試練と憧れ～輝く剣の里で～」をテーマに、日本ボーイスカウト県連盟が主催し、三十九団約

二千百人が参加した。カブスカウトは「ロード・オブ・ザ・魔(魔の山)」、ボーイスカウトは「早月尾根」と題して、町内各所に設けられたボ



県内のスカウトが一堂に集まったボーイスカウト県大会

北日本新聞 (2006.5.1)

## 39団、2100人が交流

ボーイスカウト県大会

上市



ロープワークをするカブスカウト  
＝上市町丸山総合運動公園

富山新聞 (2006.5.1)

則日本ボーイスカウト県連盟副連盟長がいさづつ、伊東尚志・市町長が歓迎の言葉を述べた。続いて長年、ボーイスカウトの指導者として尽力した十一人に県連盟有功章が贈られた。

富山新聞 (2006.4.30)

## 上市でスカウト展

県内のボーイスカウト団の活動を紹介する「スカウト展」は二十九日、上市町横法音寺のサークルK富山上市中央店駐車場で開かれ、各団の活動パネル展示や自然物を使った工作などを繰り広げ、スカウト運動をアピールした。

三十日に同町の丸山総合運動公園で開かれる「第四十九回ボーイスカウト県大会」を前に、活動を広く知ってもらうと開催した。



富山新聞 (2006.5.4)

## 笑顔さん

ボーイスカウト上市第1団団委員

久我 奈美子さん (39)

(上市町放士ヶ瀬新)

息子が五年前に復讐した上市第1団に第一期生として入団したことがきっかけでかわり、現在は指導者として、保護者の方と一緒に団を盛り上げています。

## 成長の姿に感動

先日、上市で開催されたボーイスカウト富山県大会では、実行委員として広報係長をしました。事前活動には、報道関係の依頼や一般参加者募集のチラシ作成、FMラジオ出演など大会をPRする広報活動全般を行い、当日はいきいきとしたスカウトたちの姿を追いかけて記録を残しました。

遊びや自然体験を通して強くやさしく成長する子供たちの姿を見て頼もしく感じ、自分もたくさんの感動の中にいます。



イントで課題やゲームに挑戦しながら、同公園に集合した。

▽県連盟有功章＝上田文憲、平井孝明、室田和宏、畑岸勇作(滑川)、小田勇輝(富山19、田中けい子富山6)、木下隆史(大沢野1)

市町長が歓迎の言葉を述べ、東野県教育長が激励した。酒井真次県議会副議長が出席した。

崇(高岡26)▽県連盟感謝状＝池田義範



## 東京

### 第32回救急法講習会

第一地区協議会長 磯貝 昌隆

第一地区安全管理委員会主催による救急法講習会も322目を迎え、今年も6月18日(日)、自衛隊横須賀地区病院教育部(横須賀市長瀬)を会場にして開催いたしました。

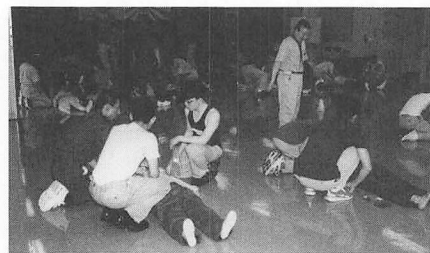
廣田政伸安全管理委員長、井沢啓一地区コミッショナーが、積極的に地区協議会、円卓会で参加者を募り、港地区、総武地区からの参加も得て、22人の受講生と7人の地区役員が参加しました。午前中は、2班に分かれてマン・ツーマンの指導で、三角巾と副木固定・止血法を実習し、午後は全員で救急講義に引き続き、2人に1体の実習用ダミー人形に指導教官が1人ずつついて、BLS(一般市民が行う一次救命処置)およびAED(自動体外除細動器)使用法に取り組みました。

救急技能は日進月歩であり、来年度から導入される「30対2」の心肺蘇生法に汗を流しました。これまで「15対2」の心肺蘇生法が身についていましたので、戸惑いを感じましたが、医療の進歩は目ざましく、新しい救急技能を取り入れた講習で、受講生たちは新技能を自分のものにするために、繰り返し、ダミー人形に取り組んでいました。

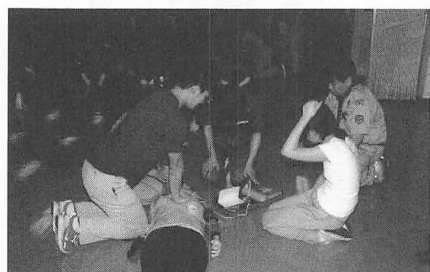
水の事故のみならず、野外活動中に事故が起きた時には、緊急の対応が必要とされます。

私たちはこの講習会を開催して“そなえよ常に”の精神で、いつでも応急処置が施せる技能が習得できたものと期待しています。

自衛隊横須賀地区病院教育部の指導教官および救命士課程の学生の方々による熱心なご指導に深く感謝申し上げます。また、講習会を終了したベンチャースカウト、ローバースカウト、指導者におきましては「いざっ!」という時には率先して習得した技術を発揮し、自信をもって適切な処置を施していただきたいと願っています。



ダミー人形を使って心肺蘇生の実習



AEDを装着して患者の救急処置



## 兵庫

### 関西学院スカウトクラブ発足 & 関西学院大学ローバース復活

関西学院スカウトクラブ副会長 上道 小太郎  
(大阪・高槻第6団 団委員)



1975年に発足いたしました関西学院ローバース(兵庫・西宮第19団)は、キャンパスの分離やスカウト数の減少など、幾

度かの組織維持の危機を乗り越えて再発足を繰り返してまいりましたが、2003年を最後に団としての存続が困難になり休止状態となっておりました。この度、関西学院におけるスカウト運動の灯火を再度点すことを目指して、新たな組織体である関西学院スカウトクラブを発足し、クラブ内の現役学生組織として関西学院大学ローバース(大学同好会)を復活することといたしました。

先日9月30日(土)に、上ヶ原キャンパスの関西学院会館に多数のOB・OGと現役学生が参集し、クラブ発足式とローバース復活式を挙行いたしました。当日は、日本連盟から篠田教育本部副コミッショナーはじめ、兵庫連盟役員諸氏、他大学ローバースの仲間が来賓として駆けつけてくださいました。クラブ設立総会では、元日本連盟評議員の三木康彦氏(S45年商学部卒)を会長に、兵庫連盟副理事長の山田明良氏(S41年経済学部卒)を副会長に選出し、盛会の内に式典とパーティーを開催することができました。

関西学院スカウトクラブは、関西学院大学の学生、大学院生、職員、卒業生はもとより、学生の保護者など関西学院にゆかりのある方はどなたでもご入会いただけます。なお、入会金・会費等は一切無料でございますので、ぜひ多数ご入会ください。詳しくは、次の連絡先までお問い合わせください。

お問い合わせ先

関西学院スカウトクラブ幹事長

上野智基(H10年経済学部卒)

電話 0798-63-9111

電子メール kgrovers@gmail.com

なお、詳細につきましては関西学院スカウトクラブホームページ(<http://www3.to/kgrovers>)でもご覧いただけます。

## 投稿お待ちしています

本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念のキーホルダーをお送りしています。投稿は、文字数400字・写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名・掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。

お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。予めご了承ください。

たくさんのお投稿をお待ちしています。

[宛先]

〒181-0015

東京都三鷹市大沢4-11-10

財団法人ボーイスカウト日本連盟

広報チーム スカウティング投稿係

〈Tel〉 0422-31-5163

〈Fax〉 0422-31-5162

〈Eメール〉 pr@scout.or.jp



# 読者の声

～ 10月号の記事について～

## ●表紙

- ◇なんか「スタンド・バイ・ミー」みたいなシーンで興味を引きました。よく見るとレールが赤くさびていて、廃線ウオークだとわかりました。パイ・サインはしていますが、みんな自然な表情で、いいシャッターチャンスを取えたと思います。
- ◇暑い日中の無帽はよくない。

## ●サンキュー！珠洲

- ◇良い面と改善すべき点を述べてくださっている点、今後の大会に生かすべきである。
- ◇ジャンボリーがスカウトたちのお祭りだけではなく、このように一般の方々に支えられている、あるいは「巻き込んでいく」のは、スカウト運動の発展にとって大変にいいことだと思いました。
- ◇いい内容ですが、ページをさきすぎ。

## ●隊活動のヒント

- ◇隊ではこのようなネタが慢性的に不足しているので、すごく助かります。
- ◇「クラブ・スカウト4～5ページも見るように」とのコメントがほしかった。

## ●隊長への手紙

- ◇百歩譲っても、お金を払うのは親なんだから、子どもは「いただきます」をしなさい！

## ●スカウトの日2006即日集計

- ◇実施プログラムの具体例があるといいと思いました。

## ●JOTA/JOT I

- ◇参加証返送用の切手代金について枚数ごとの目安を記入してほしい。
- ◇IT化が進み、Eメールが情報交換の手法となっています。JOTAは電波を通しての感動も味わえて良いです。

## ●ローカルホットライン

- ◇評価を得た内容は大変結構だが、苦情を受けたことなども取り上げてはどうでしょう。

## ●読者の声

- ◇前月号の対比になるので見比べ等の関係でピンとこない。

## ●フォト・ライブラリー

- ◇恥ずかしながら、今回始めてこのコーナーを知りました。たくさん写真が寄せられるように、カラーページにすると思いました。

## ●スカウトショップニュース

- ◇ランタンハンガーはどの程度の重量に耐えられるか書いてほしかった。
- ◇いまいち購買意欲が湧かない。ボーイスカウトカードでないとオンラインで購入できないなど、壁が高いように思います。

## ●日米・日韓フォーラム

- ◇このように他国のスカウトとの交流が実施されていることを皆さんに知っていただくことも機関誌の使命に役立っていると考えます。
- ◇分科会の雰囲気、話し合われたことをもっと記事にしてほしい。
- ◇もう少しページをさいてもいいのかな？と思いました。参加者の生の声も聞きたい。

## ●その他フリートーク

- ◇今号は、特に大きなインパクトを感じる内容がなかったように感じます。

## クラブスカウト秋冬号の記事について

### ●表紙

- ◇スカウト3人の表情、手前のリスの描写等どれも感心しません。中身が良いたけに残念です。
- ◇日本人らしくしたほうが良いのでは？

### ●僕らの新しいシーズン開始！

- ◇白地のバックの表紙の次に、赤めの写真、なかなかいい対比でした。

### ●ビーバー ドングリだいずかん

- ◇ドングリをブライヤーで挟んでキリで穴をあけるのは大人でも難しい。段ボール片をボンドで重ね合わせてU字型を作ってドングリをはめ込み、つまみ付きの画鋸で下穴をあけてからキリ等で穴をあけるとよい。

### ●カブ なわ結び

- ◇他の結びの資料より結び方がわかりやすい。
- ◇結び方は他の書籍を参考にすればわかるので、縄結びを使ったゲームなど、プログラム例がほしい。

### ●ボーイ パトローリングで進め！

- ◇現代的なものよりローテクにコンパスの使い方でも書いたほうがいいと思う。
- ◇上進時期にタイミングよく、班を重視するボーイ隊にとってはパトローリングを強調するに最適です。

### ●ベンチャー 満点の星を眺め眠る

- ◇冒険心をかき立てる記事で面白いと思った。

### ●コミック 新しい仲間を迎えて

- ◇楽しかったです。「スカウト・コミック」とか「クラブ・コミック」とかシリーズ名をつけてはどうでしょうか。

## ●星座スゴロク

- ◇どこを見れば何が見えるかというのをもっと詳しくしたほうがいい。
- ◇参考になるようなインターネットホームページの紹介もあるといい。

## ●ジャンボリー写真報告

- ◇活気に満ちた会場の様子がよく出ていていると感じました。

## ●Boy Scout World

- ◇誰を対象にした記事なのかがよくわからない。
- ◇PRのページでしょうか。この2ページをいきなり見せるのと、楽しいプログラムの記事のあとで見せるのとでは、その効果は大違いですね。クラブスカウトが良い宣伝材料になることを願っています。

## ●読者プレゼント

- ◇もっと実用的なものを。

## ●裏表紙

- ◇「スカウトになると・・・」の4つの言葉は良いと思います。「忍耐力」「積極性」などもありますね。ぜひ保護者の皆さんにも読んでいただく手立てを考え、活用してほしいと思います。
- ◇『ボーイスカウトになると・・・』を上の方に構成した方が強くインパクトを感じるのでは、ないでしょうか？

## ●その他フリートーク

- ◇全体的に良い出来上がりだと思いました。外国のスカウトに見せたいぐらいです。
- ◇過去に発行した、春・夏・秋・冬を別冊に編集して発行しては、どうでしょう。値段的なものもありますが、スカウトたちにプレゼントすると共に保護者の方にも愛読していただきたいですね。
- ◇ビーバーやカブのコーナーでの具体的なプログラム例は面白いと思ったのですが、ページが進むにつれて、対象としている読者が誰なのかがよくわからなくなりました。
- ◇広報誌なのか、内報なのかをはっきりさせて、広報誌ならボーイスカウトの良さをアピールすることに重点を置いてはどうでしょうか？

今月より新モニターの皆さんからの声も加わり、また新しい視点でのご指摘がいただけそうです。読者の皆さんもぜひ記事へのご意見などお気軽にお寄せください。☑

### ■皆さんの声をお寄せください。

目次頁記載の宛先まで、ハガキ、FAX、Eメールなど、お気軽にどうぞ。記事リクエストも歓迎。掲載させていただいた方には記念品をお送りします。なお投稿者名は掲載していませんが、匿名での投稿はお受けしていません。☑



# あなたもぜひ参加してください! たくさんの写真、お待ちしております! スカウティング・フォト・ライブラリー

日本連盟では、ボーイスカウトの各種PRや、スカウティング誌、スカウトカレンダー、各種パンフレット類などに使用できるデジタル写真ライブラリーの整理・充実を図っていきます。このライブラリー作りにぜひご参加ください。

## ■参加の方法

- ボーイスカウトの各種PR、機関誌等で活用できそうな写真を、Eメール添付でお送りください(随時受付)。
- メールのタイトルは「フォトライブラリー提出」などとしてください。
- メール本文に1. 提供者(撮影者)の氏名・所属・住所・電話番号、2. 提供いただく写真の簡単な説明(「06年春の県キャンボリーで撮影」など)を記載してください。デジタル写真のデータはより細密なものを歓迎。複数枚同時添付でも結構ですが、メール全体のデータ量が1件につき4MBを超えない範囲でお願いします。各写真データには次項の要領でファイル名をつけてください。

送付先 (財)ボーイスカウト日本連盟広報グループ  
アドレス pr@scout.or.jp

※なお多数の写真を提供いただける場合、CD-Rなどのメディアに記録したものを郵送いただいても結構ですが、各写真データのファイル名を次項に従って整理いただけますよう、お願いします。送付先は目次下に記載の日本連盟宛でお願いします。

## ■ファイル名のつけかた

お送りいただくデータは、ファイル名を「2006××●●●●001.jpg」としてください(撮影年(西暦)+所属県+氏名+写真番号3桁)。たとえば東京連盟所属の三鷹山正太郎さんが今年撮られた写真、5点で提供の場合「2006東京三鷹山正太郎001」～「同005」というような具合です。ファイル名は写真使用時のクレジットに直接反映しますので、何卒よろしくお願いします。

なお画像ファイル形式は原則として「jpeg」形式とし、必ず拡張子「.jpg」を付してください。

## ■使用条件・プライバシーポリシーなど

- 提供いただく写真は、提供者本人が撮影したもので、肖像権を有する人物および建築物などが写っている場合は、提供に際し本人(未成年の場合はその保護者)の承諾を得てください。
- 過去コンテストに入賞した作品や応募中の作品は対象外とします。
- 提供していただく写真の著作権は(財)ボーイスカウト日本連盟に帰属します(ただし、提供者本人が所属の団、地区、県連盟などの広報活動等に使用する場合は、これを制限しません)。
- 提供いただいた写真は提供者に予告・事後通知なく、ボーイスカウト運動普及・振興のために活用しますが、原則としてファイル名につけられた所属県・お名前を基本として「(例)撮影:東京・三鷹山正太郎」とのクレジットを添えることとします。
- ポスター・カレンダー、その他機関誌での主要カットなどで使用した場合には、原則として掲載した媒体を提供者に贈呈します。また使用に際してはトリミングや画像加工処理なども施す場合がありますので予めご了承ください。
- なお、被写体となった方の個人を特定できないよう、名札類、団号章などの画像は処理加工を施したうえで使用します。
- 提供いただいた写真の返却はいたしませんので、予めご了承ください。

## ■確認事項:重要

ご提供いただく写真は、メール受信および郵送等での受領をもって上記の使用条件などを提供者が承諾したものとみなします。ご提供時には必ず上記の使用条件を再確認のうえ、送信をお願いします。

## 〈報告〉

### 日本郵政公社の助成による 多目的テント



日本郵政公社平成18年度年賀寄附金配分事業による助成により多目的テントの整備を行いました。

このテントは、今夏珠洲市で開催された第14回日本ジャンボリーにおいて、海外から参加の外国派遣団等へ供され、大会の運営に大いに寄与しました。

年賀葉書・年賀切手等による年賀寄附金は、社会福祉の増進、青少年の健全育成、災害の被災者救助・予防、文化財の保護、地球環境の保全などの公益事業に助成されています。

# SCOUTING

スカウティング

2006年11月号

No.642

## CONTENTS

- 第16回全国スカウトフォーラム 報告……P.2～6
- 隊活動のヒント……P.7
- 活動自慢コンテスト最優秀作品紹介……P.8～9
- 14NJに参加したスカウトの声……P.10～11
- 全国ボーイスカウトゆかりの地探訪……P.12
- 信仰心を育むために「本はただ一つ」……P.13
- おしらせ・読者のページ……P.14～19
- スカウトショップニュース……P.21
- 平成18年度 韓日スカウトフォーラム派遣……P.22～23

発行所 財団法人ボーイスカウト日本連盟  
編集責任者 事務局長 金井昭二

住所 〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10  
TEL 0422-31-5161  
FAX 0422-31-5162  
URL http://www.scout.or.jp/  
Eメール pr@scout.or.jp

- ©財団法人ボーイスカウト日本連盟/写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。
- バックナンバーをご希望の場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。
- 本誌は再生紙を使用しています。





# SCOUT SHOP NEWS

## 2007 カレンダー販売中

2007 スカウトカレンダー (年間行事シール付き)

品番-68407 ¥630

スカウト運動創始100周年記念年の思い出となるカレンダーです。世界スカウト機構6地域 (アジア太平洋、アラブ、アフリカ、ユーラシア、ヨーロッパ、インターアメリカ) の国と地域の連盟記事を地域ごとに掲載してワールドスカウティングを表現しました。ぜひお早めにお求めください。なお、残りの部数が少なくなっております。売り切れの際はご容赦ください。

1か月ごとの見開き



(一部実物とデザインが異なる場合があります)

## 100周年記念品

2007年は英国の地でベーデン・パウエルによりボーイスカウト運動が始められてから100年目の記念すべき節目の年です。スカウト運動の新しい世紀を迎えるこの年を祝う記念品をお届けします。



100周年エンブレム

品番-70115 ¥3,500

2007年度までブレザーに着用できます。100周年記念の一品としてお求めください。



100周年ワッペン (小) 英語

品番-70155 ¥315

サイズ8.8x7cm 刺繍 スコア (世界スカウトショップ) 製



100周年ワッペン (小) フランス語

品番-70157 ¥315

サイズ8.8x7cm 刺繍 スコア (世界スカウトショップ) 製



100周年ワッペン (中) 英語

品番-70111 ¥525

サイズ12.5x16cm 刺繍 スコア (世界スカウトショップ) 製



100周年ワッペン

(中) フランス語

品番-70113 ¥525

サイズ12.5x26cm 刺繍 スコア (世界スカウトショップ) 製

100周年ビッグワッペン

品番-70105 ¥1,050

サイズ21.8 x 16.8cm 刺繍



100周年ポロシャツ 各¥1,800



緑の濃淡の切り返し襟・袖が美しいポロシャツ。胸には「平和の鳩」の刺繍ワンポイント。

サイズ表

|    | S     | M     | L     | LL    |
|----|-------|-------|-------|-------|
| 品番 | 70237 | 70239 | 70241 | 70243 |
| 身丈 | 68    | 71    | 75    | 78    |
| 身幅 | 48    | 51    | 54    | 57    |
| 袖丈 | 21    | 21    | 22    | 24    |

2007 ロンドンダブルデッカー

品番-70201 ¥2,100

1959年に導入され、昨年惜しまれつつ引退した2階建ての赤いバス「ルートマスター」は現在2路線のみ運行されています。100周年を記念したこのミニチュアバスをコレクションの一つにお加えください。バスサイズ: 4.8 x 9.5 x 2.7cm



## ボーイスカウトアメリカ連盟記念品

BSA ウッドバッジキャップ

品番-79753 ¥2,200

カーキ色のやや浅めの六方キャップ。ツバにはタータンチェック、フロントにはウッドバッジの刺繍。背面のベルクロ式アジャスター部分にはBOY SCOUTS OF AMERICAの刺繍。ウッドバッジャー限定の数量限定品。



NEW

記載の価格は税込価格です。

### ■ご利用にあたってのお願い

- お求めは県連盟・取扱協力店まで。またボーイスカウトカードをお持ちの方は日本連盟でもお求めいただけます。
- 日本連盟へのご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。日本連盟のインターネットホームページからダウンロードもできます。  
[http://www.scout.or.jp/jp/info/download/download\\_etc.html](http://www.scout.or.jp/jp/info/download/download_etc.html)
- お支払いにつきましては、ボーイスカウトカードおよび代金引換(代引)のみの取り扱いとさせていただきます。

- ファクシミリ [0422-31-5169 スカウト用品専用] でご注文をお受けいたします。
- カードは計画的にご利用ください。

★スカウトカタログ2006-2007等の情報はインターネットでもご覧になれます。

URL: <http://www.scout.or.jp/jp/info/supply/catalog.html>



※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用になれます。



「より良き理解、明るい世界」をテーマとする第6回韓日スカウトフォーラムが開催されました。日本連盟からの派遣団20人はこのフォーラムのほか、韓国国際パトロールジャンボリー2006にも参加し、韓国スカウトとの親交、相互理解を深めてきました。

名 称： 平成18年度 韓日スカウトフォーラム派遣  
 (韓国連盟日本スカウト招待計画)  
 期 間： 平成18年8月5日(土)～8月16日(水)12日間  
 場 所： 韓国・金羅南道・順天市ほか  
 (フォーラム会場：Sunchon National University  
 順天国立大学)  
 人 員： ベンチャースカウト18人 指導者2人 計20人



# 第6回韓日スカウトフォーラム

テーマ：「より良き理解、明るい世界(Better Understanding, Brighter World)」

日 程 (いずれも8月)

|                   |                                                                                        |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 3日(木)             | 準備訓練                                                                                   |
| 4日(金)             | 準備訓練・結団式・壮行会                                                                           |
| 5日(土)             | 空路韓国へ。フォーラム会場へ移動<br>韓日スカウトフォーラム(8日まで)<br>アイスブレイキングとオリエンテーション<br>運営委員会選出<br>オープニングセレモニー |
| 6日(日)             | グループセッション1・2                                                                           |
| 7日(月)             | グループセッション3<br>エデュケーショナルツアー                                                             |
| 8日(火)             | 全体会：決議(案)策定・採択<br>クロージングセレモニー<br>フレンドシップナイト                                            |
| 9日(水)             | 韓国国際パトロールジャンボリー会場へ                                                                     |
| 10日(木)<br>～13日(日) | 韓国国際パトロールジャンボリー大会参加                                                                    |
| 14日(月)            | ジャンボリー会場を出発し、韓国国内で<br>2泊する(ホームステイ)                                                     |
| 16日(水)            | 帰国                                                                                     |

## 参加者

日本 スカウト18人、指導者2人

韓国 スカウト19人、指導者2人 計41人

その他にスタッフとして韓国連盟事務局1人、韓国RS7人



スカウトたちは日程に沿って様々な討議を重ね、分科会の班編成はもちろん宿泊も日韓スカウト混成とするなど、期間中を通じて楽しく交流を深めました。両国ともスカウトたちのフォーラムへの参加態度も積極的で、発言やまとめの作表も優れたものでした。

また、各グループについてのアドバイザー兼通訳としての韓国RSはじめ、韓国側スタッフは昼夜を問わずフォーラムの運営を献身的に支援。団長・副団長、連盟スタッフ、7人のRSとも優秀な方々でした。

最後の閉会セレモニーでは、両国の代表スカウトが「私たちの間には“近くて遠い国”という寂しい言葉はもう存在しません。この暑い夏の日には私たちが出会い、語りあったことを忘れないでください。またお会いしましょう」と、それぞれの国の言葉で全参加者に呼びかけてくれました。

( 派遣団長 杉村 直  
 派遣隊長 大槻 みな子 )





## フォーラム決議文(要約)

お互いの社会、文化のちがいを理解するために努力し、活発に討議した成果として、より良き世界をつくるために次の6項を決議する。

### 1. 学校でもいじめ問題を解決するために努力する。

教師・生徒間で十分な対話をして教育現場の問題を把握し、健全な遊びを通してより多くの友だちと付き合うことができるよう助ける。また、スカウト活動を通して実現できる方法を探す。

### 2. お互いの食文化とその違いを理解し、良いところを学ぶ。

韓国は辛く刺激的な物が多く、日本は地理上の特徴から新鮮な海産物が多いことなどを互いに理解する。その結果、長時間保存できる納豆とキムチのような発酵食品が発達していることなどが共通点と理解し、これを発展させるよう努力する。特に、伝統行事の食べ物は両国間の文化的特徴をよく表すので機会あれば紹介し、理解するよう努力する。

### 3. 両国間の活発な出会いと活動によって旅行の機会を持つ。

文化遺産地の訪問と都市別で開かれる祭りに積極的に参加して、両国間の文化を理解する機会を持つ。

### 4. お互いの宗教を深く観察し両国の理解の場を広げる。

より良き理解のために他の宗教と一緒にできるという心構えを持ち、他の宗教を体験できる宗教キャンプを開催して宗教に否定的な他のスカウトを理解させる方策を探してみる。

### 5. スカウティングを通してより良き社会人を目指す。

スカウト運動を通して世界の多様な言語と民族を理解し、世界的連帯感を形成していく。また、継続的にスカウト運動に参加し、10年、20年後により良き世界を作れるよう努力する。

### 6. 酸性雨、オゾン層の破壊、赤潮現象、水の不足、異常気象等環境問題を理解して自然保護に努力する。

環境に優しい物を使用し、化石燃料などの使用を極力抑える。また、環境保護のためのハイキングやキャンプなどの多様な活動を通して健全な自然環境をつくる努力をする。

## ■参加者の声(スカウトたちの報告書から抜粋)

- ・日本語を話せる韓国スカウトが意外と多く驚いた。
- ・韓国の人はかなり気を遣ってくれる人が多いという印象を持った。また家族は明るくて仲がいいように見えた。
- ・「20年後の両国にとって何ができるか」を話し合い、「交流の輪を途切れさせないのが重要」という結論を導き出した。
- ・できる限り自分のスカウト技能を磨き、富士草もって、英語もぼちり話せるようにする。ローパーや指導者になっても、世界規模で動けるスカウトでありたい。
- ・世界各国のスカウトとたくさん交流をして一生のスカウト友だちを作りたいと思いました。日韓関係の行事があったら積極的に参加しようと思いました。
- ・こんな短期間の交流でこんなにも大きな友情が生まれるとは思ってもみませんでした。
- ・今まで自分の持っていた偏見、イメージ、意見が全部変わりました。
- ・真剣に社会のいろんなことについて議論しあった私たちは、世界のことに関心を持ち、自分なりの考えを持つようになるでしょう。
- ・他のスカウトたちにもこの派遣にぜひ今後参加してほしい。そして自分の目で見えた等身大の「外国の高校生」を感じてほしいと思う。
- ・韓国スカウトが空港まできて、涙ながらに見送ってくれた。こんな友達を持つことのできた自分はとても幸せだなと思った。一生大切にしたいと思う。

派遣団長 千葉県連盟浦安第2団 団委員長 杉村 直  
派遣隊長 千葉県連盟副コミッショナー(成田第1団ボーイ隊長) 大槻 みな子  
岩手 盛岡第5団 三上 真央 千葉 習志野第2団 小林 貴行  
埼玉 浦和第5団 武笠 透 東京 八王子第7団 山本 将基  
千葉 浦安第2団 小池 健太 東京 町田第13団 山本 淳史  
千葉 浦安第2団 高須 涼太 愛知 常滑第1団 下田 恒史郎  
千葉 浦安第2団 野田 毅 京都 京都第83団 藤信 大樹  
千葉 袖ヶ浦第1団 高田 容充 兵庫 姫路第3団 井上 恭介  
千葉 袖ヶ浦第1団 濱田 拓美 兵庫 姫路第3団 銭 大亮  
千葉 千葉第1団 五十畑 知 兵庫 姫路第6団 田口 ゆず葉  
千葉 千葉第15団 藤岡 晴菜 兵庫 姫路第6団 若狭 将生



### ●韓国国際パトロールジャンボリー

韓国スカウト約1万人、アジア太平洋地域諸国、アメリカ、ロシアなど39か国から約600人が参加。山間部の傾斜地に造成された会場で、日本派遣団20人はソウル南部連盟スタッフのサポートのもと、日々プログラム活動に参加し、友情の夕べや地元順天市のカーニバルでも全員で「よさこいソーラン」を披露し喝采を浴びるなど、楽しいジャンボリー経験をしました。



# ボーイスカウトになろう!

ボーイスカウトは子どもたちの自発的な活動を大切にし、経験豊富な指導者が見守る中で、子どもたちは『たくましさ』『自主性』『社会性』『協調性』などを学びます。



## ボーイスカウトになると...



### たくましさ

自然の中でキャンプやハイキングを通して元気な子どもになります。



### 自主性

食事だって自分たちで作ります。



### 社会性

野外活動を通して仲間と自然を知り、友情を深めます。



### 協調性

年齢の違う仲間が助け合って、一つのことを成し遂げます。



財団法人

ボーイスカウト日本連盟

SCOUTING 2006/11 642

ススカチンダ  
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可  
平成18年11月1日発行 毎月1回1日発行

発行 財団法人ボーイスカウト日本連盟  
編集責任者 事務局長 金井昭二  
〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10  
電話 0422(31)5161(代)

定価 ¥409 (税込)  
郵便振替 00110-1-82610  
口座名義 (財)ボーイスカウト日本連盟

4 931187 65251

入団のお問い合わせは フリーコール 0120-333-159 ホームページ <http://www.scout.or.jp>